

地震工学会  
津波などの突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会  
第1回研究委員会 議事録

1. 日 時：2012年8月1日（水）10：00～13：00
2. 場 所：建築会館 308 会議室
3. 出席者：市古、小川、奥村、大森、北浦、久保、後藤、佐藤、島村、末松、中須、仲村、久田、堀、真船、三上、柳原、山本、ユン、ファーナス
4. 資 料：
  - 資料 1-1 参加予定者名簿
  - 資料 1-2 研究グループ割付案
  - 資料 1-3 自己紹介資料
  - 資料 1-4 2012年地震工学会 オーガナイズドセッションの予定
  - 資料 1-5 HP 構成（案）
5. 議事内容：
  - 5.1 自己紹介
    - ・ 各委員から、経歴、最近の研究、関心事等について紹介をした。
  - 5.2 役員の選任
    - ・ 後藤委員を委員長に選任した。
    - ・ 後藤委員長から、以下の役員の指名があった。
      - 副委員長：柳原委員
      - 幹事長：山本委員
      - 幹事：市古委員、佐藤委員
  - 5.3 研究委員会の目標成果
    - ・ 地震工学会の規約に沿うと、研究委員会の成果目標としては、①会員を中心とした公開研究会・報告会の開催、②東日本大震災にかかる避難対処実態にかかる調査報告の作成、③国際交流、といった点が考えられる。
    - ・ 設置期間は2年間を目途としており、その期間で可能なアウトプットを早い段階で見いだしていくことにしたい。
  - 5.4 研究グループの設置
    - ・ 後藤委員長から研究グループ割付について、提案があった。研究グループは正式な小委員会組織とする。
    - ・ 大都市と地方都市では基本条件が異なるため、都市避難グループは、大都市と地方都市に分けて活動した方が良いのではないかと。
      - まだ研究内容が固まっていないため、研究計画を立案した上で、大都市と地方都市に分けるかどうかを判断したい。
    - ・ シミュレーションは堀委員、都市避難は久田委員、津波避難実態調査は佐藤幹事、国際交流

は村上委員に小委員長をお願いする。

- ・ 研究グループ割付については、メールで確認する。

#### 5.5 予算の使い方

- ・ 後藤委員長から、30万円の年間予算については、各回の研究委員会で遠方の方1名に1時間程度講演をして頂き、この旅費に当てるとの提案があり、了承された。

#### 5.6 2012年地震工学会 オーガナイズドセッションの予定

- ・ 2012年地震工学会 オーガナイズドセッションの予定について、市古幹事から説明があった。

#### 5.7 研究委員会のHPの構成

- ・ 研究委員会のHPの構成（案）について、佐藤幹事から説明があった。

#### 5.8 研究委員会の英文名称

- ・ 研究委員会の英文名称を「Evacuation Research Committee」とする。

#### 5.9 次回の研究委員会

- ・ 次回の研究委員会までに、各小委員会で研究計画を立案していただき、研究委員会で審議する。
- ・ 日程については、10/9の週を目途に日程を調整する。

以上